

- 1 実施日時 令和5年7月12日(水)
- 2 実施学年 第4学年
- 3 実施教科 体育科
- 4 単元名 「マット運動」
- 5 学習の流れ

「大きな美しい前転」を身に付けよう。

- 1 手本動画を参考にして、「大きな美しい前転」のポイントを確認する。
- 2 前転に取り組み、児童が互いの演技を撮影する。
- 3 撮影した動画を確認して課題を把握し、技能の向上に繋げる。

6 Chromebook の活用

- 教員が技の手本となる動画を Google Classroom に掲示した。
- 児童が chromebook を使い、演技の撮影や確認をした。

7 児童・生徒の様子

本時で扱う「大きな美しい前転」について、事前に撮影した動画を活用した。過去に取り組んだことのある技であっても、繰り返し視聴できる動画による説明は児童の反応がよかった。「足がまっすぐに伸びている!」、「動きが大きく見える!」などの声が早い段階で上がり、技のイメージができやすくなっていた。授業では、グループの中で交代で撮影をして、自分たちの動きを確認していた。「〇〇さんの回転が大きく見えるのはなぜだろう。」、「膝を伸ばすのが難しいなあ。」など、互いの優れている動作や改善点についての対話が多く見られた。また、スローモーション再生機能を活用することで、両手のつき方や動作中の視線などの細かい部分にも注目することができ、技の美しさを追求することに繋がっていた。練習を進めていく中で、一人一人の異なる課題が見えてきた際には、ポイントとなる部分のみを再生することで、指導の個別最適化を図ることができた。常に自分が取り組んだ課題に対する成果を確認しながら学習を進めることで、「もう一度やりたい!」、「次は上手くできそうな気がする!」といった、児童の前向きな意欲を引き出すことにも繋がっていた。運動と動きの確認をする時間を切り替えて行ったため、児童が目的意識をもちながら、効果的に学習を進めることができていた。

8 振り返り

自分の動きを即座に確認できることや技の変容を可視化できることに、体育科における ICT 活用のメリットがあると感じた。

児童同士での話し合い活動が活発になり、課題解決に向けた教え合いにも繋がっていた。ICT の活用方法や時間設定の工夫をすることで、よりよい授業づくりができるようになって感じた。

